

国際交流基金パリ日本文化会館  
開館 20 周年記念日本語文化アトリエ  
**平田オリザの演劇で学ぶ日本語ワークショップ**

日時：2017 年 11 月 28 日（火） 18：30～21：00

会場：パリ日本文化会館 5 階レセプションルーム

講師：平田 オリザ氏

対象：高校生～大学院生で以下のいずれかに該当する者

- フランスの高等教育機関に在籍する日本語学習者。B1 レベル以上の日本語能力がある者。
- フランスの中等教育後期課程に在籍する日本語学習者。B1 レベル以上の日本語能力がある者。参加にあたり保護者の同意が得られること。
- フランスの高等教育機関に在籍し日本語教育を専攻する日本語母語話者の学生  
※日本語教育専攻者でない日本語母語話者の方のご参加はご遠慮ください。

定員：20 名（申込順、参加費無料） 使用言語：日本語

参加申込：パリ日本文化会館公式ページの Billetterie からお申し込みください。本ワークショップに参加するには、事前アンケートへの回答が必要です。チケット発券（「Imprimer」あるいは「Ouvrir billet mobile」をクリック）の際に、アンケートページが開きますので、ご回答願います。アンケートは参加者 1 名様につき 1 件お答えいただきます。一回に複数の方のお申し込みをされる場合は、ご注意ください。

ウェブページ：<https://www.mcjp.fr/fr/agenda/atelier-de-theatre-avec-oriza-hirata>

お問い合わせ：nihongo.contact@mcjp.fr

### 講師プロフィール：平田 オリザ 氏

1962 年、東京生まれ。国際基督教大学在学中に劇団「青年団」結成。戯曲と演出を担当。桜美林大学などを経て、現在は東京藝術大学・アートイノベーションセンター特任教授、大阪大学 CO デザイン・センター客員教授、四国学院大学客員教授・学長特別補佐。

戯曲の代表作に『東京ノート』（岸田國士戯曲賞受賞）、『その河をこえて、五月』（朝日舞台芸術賞グランプリ）、著書に『演劇入門』『演技と演出』『わかりあえないことから』（以上、講談社現代新書）、『芸術立国論』（集英社新書）、『話し言葉の日本語』（井上ひさしとの共著、新潮文庫）、小説『幕が上がる』（講談社文庫）など多数。2002 年度から採用された国語教科書に掲載されている平田のワークショップ方法論により、多くの子どもたちが、教室で演劇を創るようになっている。合同プロジェクトやワークショップを通じ、フランスをはじめ韓国、北米、オーストラリア、東南アジア、中国など海外との交流も幅広い。2011 年フランス国文科省より芸術文化勲章シュヴァリエ叙勲。

**ワークショップ内容**：身体と頭と心をほぐし、表現リテラシーを磨く演劇活動を実際に体験していただきます。

※ 当日は動きやすい服装（スカート不可）でお越しください。